一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第337号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部　〒422-8062 静岡市駿河区稲川1-1-15 ヴィラセーユー稲川207
TEL.054(287)6337　FAX.054(287)4113
発行者／山口 浩司　編集責任者／薗田 明広　発行日／平成30年4月1日　印刷所／小林クリエイト(株)

4月号内容

◆スタートアップ研修会終了報告 …… 1～5
◆会員投稿 …… 6
◆研修会案内 …… 7
◆研修会終了報告 …… 8～9
◆公開講演の案内 …… 9
◆行事予定 …… 10
◆情報変更の手続き等の案内 …… 11

スタートアップ研修会　終了

3月3日(土)に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」にて新人～入職5年目位までの皆さんを対象とした平成29年度スタートアップ研修会が開催されました。

寒暖差のある日の開催になりましたが、参加していただきよい会となりました。

今年度も開催いたしますので、多くの方々の御参加をお願い致します。

平成29年度スタートアップ研修会を終えて

組織部　　杉澤　きよ美（沼津市立病院）

３月３日（土）に入職５年目位までの新人技師の皆さんを対象としたスタートアップ研修会を静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で、昨年に引き続き土曜日に開催しました。寒暖差のある今年はインフルエンザの流行も長引いており気掛かりでしたが、朝９時の受付開始からイブニングセミナー終了まで、申込みいただいた21名の若手技師さん全員に最後まで参加いただくことができました。

午前中は佐原組織部理事(浜松医療センター)による「日常業務・当直業務で困ったことはなんですか？」と題したグループワーキングと発表が行われました。昨年のアンケート意見も参考に、今回はグループごとに理事１名にオブザーバーとして参加してもらい、先輩技師としての経験談や意見も聞きながら、参加者内で悩みや疑問点を振り返り、ディスカッションする中で皆が同じ思いを持つことに共感しつつ、今後に向けた解決案も含めた発表がされていました。

ランチョンセミナーでは日臨技理事でもある山田理事(聖隷三方原病院)と、直田組織部常務理事(聖隷浜松病院)から「技師会について知っておこう」と題し、日臨技・静臨技の組織の目的、体制、活動についてＨＰ活用術も含めて紹介され、若手の方々にはまだよくわからなかった技師会や、連盟についての理解を深めていただくことができたようでした。午後からはまず「プレゼンテーション(提案)の考え方や基本的な技術を身につけよう！」で、アボットジャパンの山田逸枝先生による「効果的なプレゼンテーションのポイント」と牧野綾先生による「接遇コミュニケーションの基礎」を学びました。学会発表でも使える、見る人に訴えが伝わりやすい、人をいかに飽きさせずわかりやすく伝えるかといった表現のコツをふまえたプレゼンテーション資料の作り方と、患者や目上の人に対する丁寧語や尊敬語、謙譲語について、こちらの言葉や態度で相手の受け取り方も変わってしまうことなど、コミュニケーションの取り方などの事例を交えて、実際に参加者同士で体験しました。さらにはそれが自分を知ってもらうことにもつながり、参加者内の交流にもなっていました。研修最後を飾る恒例のイブニングセミナーは「コミュニケーションを図ろう」と題した伊藤事務局長(静岡厚生連 遠州病院)による親睦をはかる企画を行いました。研修が進み参加者内でのコミュニケーションもさらに進む中、“明日に役立つ（？）”検査の知識や雑学の出題に今年も“珍回答”続出！大いに盛り上がりました。

本研修会では、同世代の技師間での業務の悩みや問題点の共有、先輩技師や他職種間とのコミュニケーションによって解決策を見いだせること、患者様への接遇の基本、技師会への理解を深めてもらうことや学会発表を行う上での手法などを学んでいただくことのみならず、大きな目的のひとつには“県内若手技師のネットワーク作り”もあるのですが、研修終了時にはお互いの連絡先交換などもしてもらい、参加して下さった皆さんから『勉強になった！』『今後の役に立つ！』なにより『仲間が出来た！』『楽しかった！』との声も寄せられて、この目的も果たせたのかなと嬉しくなりましたし、今後も続けて欲しい事業と思っています！

朝から夜までの長丁場の研修会でしたが、参加いただきました皆さま、大変お疲れさまでした

聖隷富士病院　近藤　慶

スタートアップ研修はとても楽しく学べる研修会でした。普段関わりのない県内の病院の技師の方々と情報共有し、アドバイスしあえたのはとても刺激的で良い経験となりました。また静臨技の詳しい説明やプレゼンテーションの作成方法の説明など自分にとってとてもプラスとなり有意義な時間を過ごすことができました。5年目研修なども企画していると伺ったので次に参加するときには格段にスキルアップした姿で臨みたいと思います。

聖隷浜松病院　竹田 裕基

今回の研修会ではコミュニケーションの大切さを強く感じました。接遇コミュニケーションの基礎でロールプレイを行うことにより、患者さんを不安にさせないためには正しい言葉使いや傾聴力が必要だと思い、これからの業務で気を付けていきたいと思います。
イブニングセミナーでは、他施設の同期と業務での困ったことややりがいなどを楽しく話をすることが出来ました。この繋がりを大切にしていきたいです。

富士市立中央病院　柏木 里沙子

今回スタートアップ研修会に参加させていただき、横や縦のつながりの大切さについて改めて実感することができました。また、効果的なプレゼンテーションをつくるために、フォントはメイリオ、色は三色程度など、simple is best を目指して、今後にいかしていきたいと思いました。

聖隷予防検診センター 検査課　　木暮　瑛梨加

静臨技主催のスタートアップ研修会に参加させていただきました。静岡県の多くの病院から新人が集まり、グループワークをしたりイブニングセミナーで親睦を深められてとても楽しかったです。困ったことなどを共有することで解決策を見出すこともできました。また、接遇コミュニケーションやプレゼンテーションの研修もとても勉強になりました。これから学会発表に活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

静岡厚生連　遠州病院　　平野 ノラ（平野　真菜）

先日は新人オリエンテーションを開いていただきありがとうございました。クイズでは2位、ビンゴでも商品を頂くことができました。まだ働き始めて1年も経ちませんが、同じような悩みを持っていたことを知り少し安心しました。この研修会を通して、これから働いていく中で最も大切な存在である同期と出会うことができ、また一緒に飲もうねって約束ができたこと、とても嬉しかったです。困ったときに1番近くで支え合えるのが同期だと思うのでこれからもよろしくお願いします。

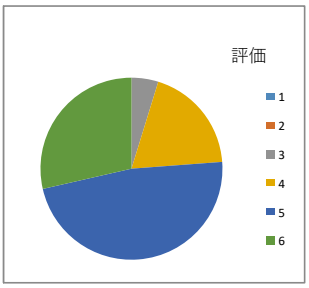
2017 年度スタートアップ研修　アンケート集計　総勢 21 名

1. 研修のねらいについてどの程度理解できましたか？

1)　「正直、日常業務で困ったことはなんですか？」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数（名）			1	4	10	6

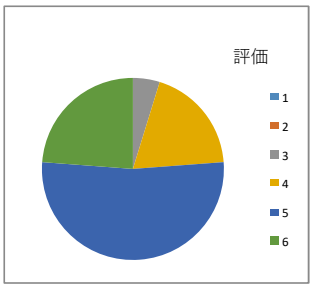
※　できなかった　←1・2・3・4・5・6→　できた



①グループ内で意見を交わし、解決策を見つけることができた。(6名)
②同じような悩みなどを共有、共感できて良かった。(9名)
③他の方や施設の意見が聞けて良かった。(2名)
④オブザーバーの方々の意見が参考になった。
⑤オブザーバーの方々からフィードバックがもう少し欲しかった。

2)　「技師会について知っておこう」について

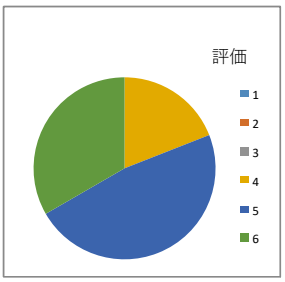
評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)			1	4	11	5



①技師会・技師連盟について知ることができて良かった。(5名)
②知らないことを聞くことができた。(3名)
③詳しく説明をしてもらえた。(2名)
④これからホームページを見ようと思った。(2名)
⑤連盟があることは分かったが内容が少し難しかった。(2名)

3)　「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について

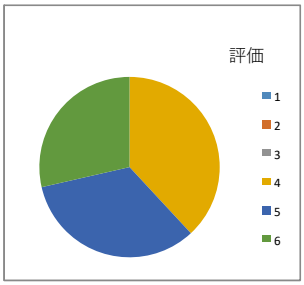
評価	1	2	3	4	5	6
人数（名）	0	0	0	4	10	7



①プレゼンテーションの練習方法、パワーポイントの使い方などが学べた。(3名)
②実践を交えたりと、とても分かり易い説明で、理解し易かった。(3名)
③今後の参考になることが多く勉強になりました。(2名)
④コミュニケーションの取り方など学べて良かった。(2名)
⑤今後の日常業務や発表で役立つことが学べた。(3名)

4)　「イブニングセミナー」

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	8	7	6



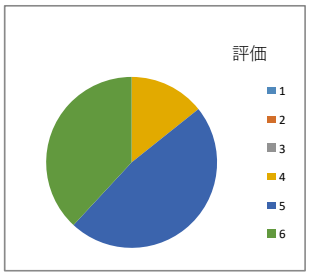
①楽しかったです。(5名)
②難しかったです。(4名)
③他施設の方と交流ができて良かった。(3名)
④頭を柔らかくすること、柔軟性が大事だと学びました。(2名)

2. この研修で学んだことは、今後どのくらい役立ちますか

1) 「当直、日直業務で困ったことはなんですか？」について

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	3	10	8

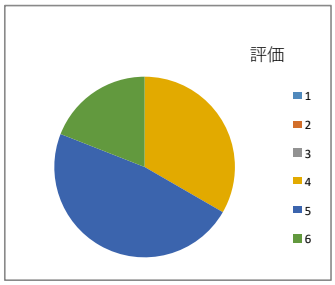
※　役立たない　←1・2・3・4・5・6→　役立つ



①たくさんの意見を聞くことができた。(8名)
②解決策を話し合ったので、それを実践していきたいです。(3名)
③今後もっと頑張ろうという気持ちになりました。(3名)
④もっと上司や先輩に積極的に質問をしていこうと思いました。
⑤なるほどなと思うことがたくさんあり、勉強になった。

2) 「技師会について知っておこう」について

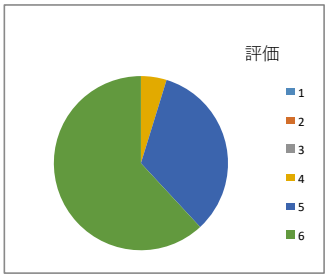
評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	7	10	4



①技師会や連盟の活動内容を知ることができた。(6名)
②技師会のHPなどをもっと見ようと思った。(5名)
③e-ラーニングを使ってみようと思った。(3名)
④技師会が様々な情報を発信していることも改めて知った。(2名)
⑤技師連盟の活動に協力しようと思った。

3) 「知っておこう、効果的なプレゼンテーション」について

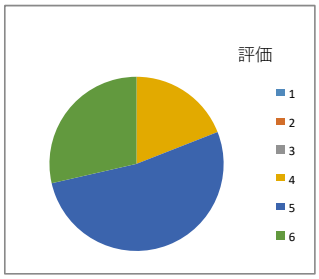
評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	1	7	13



①今後学会などで発表する機会があれば、参考にしたいと思った。(5名)
②今度プレゼンテーションすることがあるので、とても役立った。(4名)
③分かり易く、すぐ実践しようと思った。（2名）
④患者さんへの接遇や言葉遣いのポイントを知ることができた。(3名)
⑤今後必要なスキルだった。(2名)

4) 「イブニングセミナー」

評価	1	2	3	4	5	6
人数(名)	0	0	0	4	11	6



①固定観念をなくしてみることが大切だと感じることができた。（3名）
②頭をやわらかくすることの大切さを学びました。（3名）
③臨床検査の問題や面白い問題などあり良かった。(2名)
④みんなとたくさん話すことができた。(2名)
⑤研修が終わった後も情報交換できれば良いと思った。

3. その他気づいたこと、感じたことがあれば書いてください。
①別の病院の方と交流ができるのはとても楽しかった。また、とても良かった。（多数）
②プレゼンテーションについては大変勉強になった。
③敬語の話は、患者対応が多いのでとても参考になった。
④この活動は続けていった方が良いと思った。
⑤すごくおもしろくて、あっという間だった。
⑥プレゼンテーションや接遇の話があってからグループディスカッションの方が、学んだ事をすぐに活かせそうな感じがした。
⑦進行がとても良かった。

会員投稿

入院のすすめ

伊豆赤十字病院　匿名

子供たち三人は、昨年なんとか全員巣立ち、いま、我が家は、妻と自分の母親と自分と猫の、三人と二匹になりました。当然ながら？大きい車は必要がなく、自分のあしはバイクと自転車のみの毎日となり、用事のない休日は朝からバイクか自転車で１日中ふらふらと出かけるようになって、はや、６年が経ちました。いまは意志を持って出かけていますが、そのうち、徘徊と区別がつかなくなるのではないのかなーっと思ったりすることもあります。

そんなある秋に、不注意から脛骨を骨折してしまい、入院、手術する羽目になってしまいました。しかも、自分の勤務する病院で、です。入院生活に慣れない頃は、できるだけ迷惑を掛けないようにとか、自力でトイレに行きたいとか、検査現場へ早く復帰しなくっちゃっとか考えて、少々焦り気味だった様な気がしましたが、入院も１カ月を超えたころには一人前の“患者”になったように思えました。そんな“患者”からの視界は、目に映るものが水平位置から上のことが多く、普段見ている病院の風景がだいぶ違って感じられたり、不意に検査に呼ばれたりすると、行くまでにけっこうやることが多く、ひざを曲げないように車いすへ移動するのだけでも、そこそこの時間がかかり・・・遅いなー・・・なんて思われているかな？なんて思ってみたり、普段は仕事のことで、時々検査部門と、もめることもある看護師さんたちが、みんな忙しそうに働いているところをみていると、接し方が少し変わったような気がしています。

今、この入院していた時の気持ちを思い出して仕事に臨むと、不思議とうまくいくことが多いように感じられるのは、気のせいでも年のせいでもないと思っていますので、皆さんがもし、けがなどで入院するようなことになってしまったら、勤務する施設へ入院することを、おすすめします。

もっとも、入院するようなことにならないことのほうが大事ですけどね！

研修会 案内

臨床検査関連研修会・講習会（1）

平成 30 年 3 月 15 日までに申請を受理し承認された研修会等を、下表のとおりお知らせします。
1.　各研修会の詳細については、別紙の【研修会案内】をご確認ください。

平成 30 年（4）（敬称略）

平成 30 年 4 月 21 日（土） 14：00 ～ 17：00 （受付 13：30～） CSA 会議室 レイアップ御幸町 5 階 D 静岡市葵区御幸町 11-8 会　員　　1,000 円 賛助会員　1,000 円 非会員　　2,000 円	**平成 30 年度　第 1 回　臨床血液部門研修会** ＜テーマ＞ 日当直時にも役立つ血液検査の基礎知識を学ぼう！ ＜講　演＞ 1.『日当直時にも役立つ凝固検査の基礎知識』 シスメックス（株） 名古屋支店学術サポート課 相原　孝至 先生 2.『日常診療に役立つ血液病の知識』 磐田市立病院　副院長 飛田　規 先生 今回は凝固検査の基礎知識についての講演と、臨床の先生から血液疾患診療について、貧血や多血、血小板と白血球の増減について、基礎と最近の動向を交えて講演していただきます。日当直のみ血液検査を実施される方や新人の方、部署移動などで新しく血液担当になられた方も是非ご参加ください。 事前申し込み不要。当日直接会場にお越しください。	No.（180000728） 専門－20 点 【問い合わせ先】 臨床血液部門 大橋　勝春 独立行政法人 地域医療機能推進機構 三島総合病院 TEL：055-975-5545

研修会・講習会の詳細は、開催案内やホームページでご確認下さい。
台風など天災の影響により開催が危ぶまれる場合は、必ずホームページを確認してください。

研修会 終了報告

	平成29年度　第1回染色体遺伝子部門研修会
開催日	平成 30 年 2 月 10 日（土）
会　場	静岡赤十字病院　研修室
参加人数	12人
内　容	今回の研修会では、染色体検査を長年実施されている園山先生に、実際の染色体検査をご講演、実習指導していただきました。 おそらく、多くの施設では、染色体検査は外注会社にて実施されており、染色体検査がどのように行われているのか、知らないあるいは見たことがない方も多いと思います。そのような中、園山先生に染色体検査の概要を教えて頂き、少しは染色体検査が身近になったのではないでしょうか。 また、染色体検査は、造血器腫瘍で多く実施されており、遺伝子検査が進んだ現在でもその価値は失われていません。園山先生には、造血器腫瘍における染色体検査の結果の考え方もご講演いただきました。本研修会の内容を日常の業務に活かしていただければと思います。

事業名	第 18 回　静岡血液フォーラム
開催日	平成 30 年 2 月 18 日（日）
会　場	CSA 貸会議室　レイアップ御幸町ビル 5 階
参加人数	167 人
内　容	第 18 回血液フォーラム『血液疾患に対する知識を深めよう！』をテーマに開催されました。1 日をかけて計 5 講演が行われ、県内外から 170 名を超える多くの方々に参加して頂きました。第 1 講演の『病理医から見た血液疾患』では、骨髄病理の考え方や組織病理の利点を解り易く説明して頂きました。 また、『MDS の診断　WHO 分類 2016 で変わったこと』では、名称の変更についてや新たな遺伝子変異などの最新情報を共有して頂きました。その他にも、APTT 凝固波形の見方、FCM の原理と臨床検査におけるデータの見方、好中球形態異常の表記方法 Web アンケート」調査結果の報告があり、施設間での統一化の必要性が改めて感じられる内容でした。 どの講演においても、今後の日常業務へ活用できる内容が学べた、大変有意義なフォーラムとなりました。

	平成29年度 第3回病理細胞部門研修会
開催日	平成 30年　3月 3日（土）
会　場	静岡赤十字病院　3号館2階　第1・2研修室
参加人数	49人
内　容	今年度最後となる部門研修会は「知って得する」内容の講演会を開催しました。病理業務の中でも比較的遭遇する頻度が低いと考えられる3分野を選択し、その稀な検体を取り扱う病理技師にはどのような知識や技術が必要とされているのか、それぞれの分野ごと県内外3名の講師にご講演頂きました。本研修会で今まで知らなかった新たな情報を得たことが、技師一人一人のスキルアップに、そしてより精度の高い病理標本の作製につながることを望んでいます。

入場無料です。
皆様お誘いの上、ぜひご参加ください。

公開講演　（日本医学検査学会会期中アクトシティにて開催）

人間関係をつくるコミュニケーション力

齋藤　孝 明治大学文学部教授

日時：2018 年 5 月 13 日（日）
14：40　～　15：40
会場：アクトシティ浜松 1 階
「大ホール」

豊かな会話、クリエイティブな議論、話の流れをつかむ文脈力、見える世界を変える語彙力、 基盤としての身体の重要性など、職場や家庭での人間関係をよくし、強く生き抜くために必要な、 いきいきとしたコミュニケーションの、具体的な方法をお伝えします。

【プロフィール】 1960 年、静岡県生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院教育学研究科博士課程を経て現職。 専門は、教育学、身体論、コミュニケーション論。『身体感覚を取り戻す』（NHK 出版）で新潮学芸賞受賞。
NHK E テレ『にほんごであそぼ』総合指導。日本テレビ系『世界一受けたい授業』「情熱大陸」・TBS テレビ 系『新・情報 7days ニュースキャスター」『あさチャン！」MC 等テレビ出演多数。

平成 30 年 4 月・5 月・6 月の行事予定

4 月

7 日（土）	静臨技 学術部門長会議	：あざれあ
9 日（月）	静臨技　監査 ＋ 理事会 ＋ 拡大実行委員会	：技師会事務所
10 日（火）	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	：静岡県医師会仮事務所
21 日（土）	平成 30 年度 第 1 回 臨床血液部門研修会	：静岡赤十字病院
26 日（木）	日本医学検査学会拡大実行委員会	：技師会事務所

5 月

11 日（金）	行列ができるスキルアップ研修会　Part IX	：アクトシティ浜松　他
12 日（土）～13 日（日）	第 67 回　日本医学検査学会	：アクトシティ浜松　他
15 日（火）	静岡県臨床検査精度管理調査試料梱包作業	：中北薬品　焼津支店

6 月

2 日（土）	静臨技　総会　＋　記念式典（65 周年）	：中島屋グランドホテル
	静臨技理事会（新役員にて開催）	：中島屋グランドホテル 会議室

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）薗田明広まで　sonoda.ghp.pref.shizuoka@gmail.com

本報（抜粋カラー版）をホームページに掲載しましたので是非ご覧ください。

☆ 求 人 情 報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒432-8580 浜松市中区富塚町 328

浜松医療センター　臨床検査技術科　佐原卓夫まで。

E-mail：osigoto@samt.or.jp

TEL：053-453-7111（内線 8421）

情報変更の手続き等について

新入会登録 や、 **会員情報・登録施設情報**（名称・連絡先）に変更がある場合、
日臨技へ申請をお願いします（日臨技 HP；入会・退会・会員情報の変更参照）。

責任者・連絡責任者・施設連絡用 E-mail アドレスを登録・変更する場合、
静臨技事務所へ連絡をお願いします（静臨技 HP；各種申請書を参照）。

静臨技賛助会員入会申請 や、 **賛助会員情報**（担当者・連絡先）に変更がある場合、
静臨技事務所へ連絡をお願いします。

問合せ先：**（一社）日本臨床衛生検査技師会**
http://www.jamt.or.jp/
（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）
TEL：054-587-6337　FAX：054-287-4113
E-mail：samtjim@samt.or.jp